

# epoch

エポック No94

～千代田区生涯学習推進委員会議だより～  
平成27(2015)年12月 発行

## 第10期第8回 概要報告

平成27年10月23日、第8回生涯学習推進委員会議が開催されました。

9月29日から、(仮称)生涯学習大学モニターコース「生涯学習コーディネーター養成～体験編～『発信力』」が始まり、徐々に本格開校へ向けて準備が進んでいます。今回の会議では、モニターコース実施状況の報告と、前回に引き続き大学名称・基本理念について話し合いました。今後は、本格開校後のコース設定について具体的な検討を進めていくこととなります。

以下、概要をお送りいたします。

### (仮称)生涯学習大学モニターコース実施状況について

#### ● 応募者内訳 (最終応募人数：73名)

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
人数	1名	13名	16名	18名	19名	4名	2名

性別	男性	女性
人数	29名	44名

区分	在住	在勤	在学	他
人数	22名	34名	1名	16名

#### ● 受講者内訳 (36名)

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
人数	1名	7名	10名	10名	8名	—	—

性別	男性	女性
人数	12名	24名

区分	在住	在勤	在学	他
人数	15名	21名	—	—

#### ● 事務局からの報告

- ・73名の応募のうち、抽選により36名の受講者を決定した。
- ・年代は70代の方のみがいらっしゃらないが、比較的均等に万遍なくご参加いただいている。
- ・人数の内訳では女性の受講者が多いが、モニターコース第4回目までの実施状況を見ると、男性の受講者にも積極的にご参加いただけている。
- ・参加している方々の意識がとても高く、年齢の幅を超えて交流しながら受講している様子である。



## 受講生へのアンケートについて質疑応答・意見交換



○ 受講生へのアンケート内容について、「各回の満足度をパーセントで」とあるが、こういった回答方法なのか。

⇒100%を一番高い数字として、毎回の講座後に満足度をご記入いただいている。以前別の講座では「良い」「悪い」の二択でアンケートを取ったが、数字で示していただいた方がより分かりやすいため、今回提示した方法に変更した。

○ 「満足度」というのは、なにに対しての満足度なのか。少し具体的に示した方がいいと思う。

⇒アンケートでは各回の全般的な満足度を聞いている。たとえば、全体の満足度を100%と記入していても、その他の個別の項目ではあまり評価が高くないこともある。その場合は、各受講者がなにを優先的

に考え、どういったところに期待しているのかを推測できる。また、各回の感想を自由記述でご記入いただく項目もあるので、逆に「○○に対しての満足度」と限定してしまわない方が、受講者の傾向を読み解けると考えている。



○ 今後のアンケートで、「今回モニターコースで学んだあと実際に活動するにあたり、どのような日時や曜日で活動できるか」ということを聞いてみてはどうか。本格開校に向けて、こちら側の目安にもなると思う。

○ モニターコースは今後演習形式になっていくので、演習を通して、実際に活動してみたくなったかどうか、ということもアンケート内容に入れられればいいと思う。



### (仮称)生涯学習大学 正式名称・基本理念(案)について



#### 前回の議論をもとに、引き続き検討を行いました！



○ やはり名称には「生涯学習」という言葉を入れた方が、誤解がなく明確で良いのではないかと。「千代田大学」などという名前は、普通の大学のように思ってしまう。

○ 今後は環境・福祉・観光・防災等、生涯学習の分野に捉われずにさまざまなコースを開講していくと思われる。逆に「生涯学習」という言葉を入れない方が対応できるのではないかと。

○ 教育基本法で生涯学習の理念が新しく打ち出されたが、「生涯学習」という言葉は、環境・福祉・観光等、さまざまなことを包括している概念として解釈されている。

○ 生涯学習という観点はさまざまな捉え方がある。行政では比較的縦割りになっていることが多く、生涯学習センターで福祉のことや環境のことを取り扱うことはあまりない。受ける方々の意識とズレが生じる可能性もあるため、その点は今後の懸念事項である。

○ 大学のイメージとしては、生涯学習という大き

な括りの中で、環境コースや福祉コースがある、ということでもいいと思う。

○ 名称を考えるにあたっては、生涯学習という一般的な括りの中で、個別の講座ジャンルごとにコース名称を決める方が、受講する人にとってはイメージがしやすいのではないかと。

○ 前回の会議で、「千代田」を漢字にするかひらがなにするかという議論があったが、例えば「千代田生涯学習カレッジ」という漢字の名称にしても、括弧づけで「ちよかれ」というような略称を付けたりすれば、雰囲気も変わって良い。

○ 漢字の「千代田」は歴史的な価値がある言葉であり、区民の方々は非常に誇りを持っている。ひらがなの「ちよだ」はあまり馴染みがない。

○ 漢字かひらがなか、という議論はナンセンスであるようにも思う。漢字に思い入れのある人ばかりではないので、アンケートで投げかけて、その結果で決めればいいのではないかと。

- 基本理念については、前回の議論をまとめて整えた形で、非の打ちどころのない内容になっている。ただ、多くの区民に理解していただけるような、ワンセンテンスで説明できるような表現の仕方を工夫した方がいいと思う。理念の柱はこのままで、中高生や高齢者でも理解できるような文章を考えたい。
- キャッチコピーという発想には賛成。パッと見

て多くの人が飛びつくような感じにすれば、理念の部分はこういった表現でも問題ない。

- こういったキャッチコピーを作るにあたっては、是非モニターコース受講者の皆さんにお伺いしてはどうか。幅広い年代、男女ともにご参加いただいているので、自由に意見をお出しただけならばなにかヒントが得られると思う。
- 大学のロゴのようなものも作成できたらいい。

### ● 正式名称の最終候補（6案）

⇒受講者アンケートを実施し、次回12月の会議で最終決定とする。



- |             |               |                |
|-------------|---------------|----------------|
| ① 千代田生涯学習大学 | ③ 千代田生涯学習カレッジ | ⑤ 千代田生涯学習アカデミー |
| ② ちよだ生涯学習大学 | ④ ちよだ生涯学習カレッジ | ⑥ ちよだ生涯学習アカデミー |

### ● 基本理念（最終案）



東京の中心地「千代田区」は江戸以来の歴史・文化を豊かに継承しつつ、2020年のオリンピック・パラリンピック開催都市を経て、さらに新しく変化し続ける国際都市です。この変化に対応し、学び続けることが欠かせなくなる社会では、大人が自ら学び、同じ目的を持つ仲間を見つけ、仲間とともに学び合い、一緒に何かを創る場が必要になってきます。学びは、コミュニティ自体に課題解決能力や新しい価値を生みます。

（仮称）生涯学習大学は学びで人と地域をつなぎ、グローバルとローカル、社会と個人の交流の場となることをめざし、学びを地域に還元し、「これからの千代田」を担う、社会貢献に積極的な人材をサポートします。生涯学習によるまちづくりやそのプラットフォームとなることをめざします。

### ● 3つの方針（最終案）

#### 千代田区・地域・コミュニティ（Globalism グローバリズムと Localism ローカリズム）

- 千代田区の伝統（歴史・文化）
- 千代田の今（都市計画やまちづくり、教育）
- 地域の捉え方、関わり方
- Think globally, act locally



#### 学ぶ、つながる、続ける（Active learning アクティブラーニング）

- 大人の学び、学びあい
- 地域で学ぶこと、学べること
- 学びのつながり、広がり
- 学んだことをどう生かすのか、仲間作り
- 続けていく必要性、重要性



#### プロボノ精神（Speciality スペシャルティと Work life balance ワークライフバランス）

- 専門性を生かすこと
- 社会貢献での生きがい
- 本業や家庭へのフィードバック
- キャリア形成





～ リレー随筆 No.11 ～

「処世の師」

岡部 元英

あの人だったらこの問題をどのように解決するのかな、と思うことがありませんか。

解答を求めて、ああでもない、こうでもないと思い迷っている時、私はこうした思いにとらわれます。この時の「あの人」とは往生した肉親や、大学の担任教授や親しい友であったりします。ただ不思議に人間関係の相克で迷っているような場面には、「あの人」ではなく「あの音楽」を聞く思いにとられるようです。それも、モーツァルト「ピアノ協奏曲第21番」に限っています。今から47年前に公開されたスウェーデン映画（みじかくも美しく燃え）の背景音楽で流れていた曲です。以来、何千回と私の迷いをただす適確なヒントを導きだしてくれました。

初めに買ったレコードはくたびれて、今はノイズを出しますが、人よりも、書籍よりも私を教え諭して処世の方向をかならず示してくれた“この曲”こそ、私の大切な最高の処世の師であることに代りありません。



編集後記（事務局より）

第10期第8回のエポックをお送りいたしました。

今回は大学の正式名称(案)が6つにまで絞られ、基本理念・方針の最終案が決定いたしました。今後はモニターコース受講者に自由意見を募りつつ、本格開校へ向けて引き続き具体的な検討を進めていきます。

また、ご多忙の中リレー随筆をお引き受けくださいました岡部委員に、心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

編集／発行



千代田区 地域振興部 生涯学習・スポーツ課  
〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1  
TEL：03-5211-3632  
FAX：03-3264-1466  
MAIL：shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp